

電池材料研究会 開催案内

「中性子線を用いた計測技術の現状と今後

ービームラインサイエンティストから見た電池研究の展望ー」

主催：中性子産業利用推進協議会（IUSNA）

（一財）総合科学研究機構（CROSS）

協賛：J-PARC MLF 利用者懇談会

後援：茨城県

日時：2024年12月23日（月）13:10～17:10

場所：航空会館 901号室 【現地及びZOOMによるハイブリッド開催】

開催趣旨：低炭素社会の実現やモビリティの電動化に向け、二次電池、燃料電池などの電力貯蔵・変換技術の研究開発が加速しています。それらを背景に、本研究会ではその最新動向や技術課題などにも目を向けながら、中性子線を初めとする量子ビームを用いた電池研究について議論を行う場とします。今回は、電池研究で使用されている代表的な中性子線を用いた計測技術/装置/施設の現状と今後について、講師の皆様にご紹介いただきます。

プログラム（敬称略）

※講演時間は質疑の時間を含みます

13:10～13:20 開会挨拶、開催趣旨説明

電池材料研究会主査／（株）豊田中央研究所 二次電池研究領域 佐々木 巖

司会：佐々木 巖（豊田中央研究所）

13:20～14:10 「電池研究における中性子反射率計測の現状と今後」

阿久津 和宏（CROSS）

14:10～15:00 「電池研究における中性子イメージング測定の現状と今後」

篠原 武尚（JAEA）

15:00～15:10 休憩

15:10～16:00 「電池研究におけるミュオン計測の現状と今後」

大石 一城（CROSS）

16:00～16:50 「電池研究における iMATERIA の現状と今後」

小泉 智（茨城大学/CROSS）

16:50～17:00 総合討論・意見交換

17:00～17:10 終了挨拶

【参加費】中性子産業利用推進協議会会員会社の方は無料。

中性子産業利用推進協議会会員会社以外の方には、テキスト代 2000 円 (税込) をご負担いただきます。下記、振込先に研究会開催までにお振込み下さい。

【資料代振込先】：常陽銀行 東海支店 (普通) 1598420

口座名 : 中性子産業利用推進協議会

チュウセイシサンギョウリヨウスイシンキョウギカイ

【参加申込方法】下記 Google Form からお申込み下さい (受付締切 : 12 月 16 日 (月))

<https://forms.gle/sSjrNGagcryGNEKs6>

Google Form がご利用できない場合には、(1)お名前、(2)ご所属、(3)連絡先(電話番号, E-mail address) (4)参加方法(現地・WEB)をメール本文にご記入の上、中性子産業利用推進協議会事務局までメールにてお申込みください。メール申込先 E-mail: info@j-neutron.com

※ZOOM の接続 URL は、受付締切後に参加を申込まれた方にお知らせします。

【アンケートのお願い】

本研究会終了後にアンケートをお願いしています。次回開催のための参考とさせていただきますので、ご回答にご協力をお願いいたします (回答締切 : 12 月 31 日)

<https://forms.gle/1WaM6Arx1fWCXQwL6>

<問合せ先>

中性子産業利用推進協議会 事務局 : info@j-neutron.com

〒319-1106 茨城県那珂郡東海村白方 162-1 いばらき量子ビーム研究センターD201

TEL : 029-352-3934 FAX : 029-352-3935

※勤務日は火曜日、木曜日のみです。ご注意ください。